

NPO法人能登水難救済会（会長武元文平氏）では、7月11日午後、七尾市役所市長応接室において、（社）日本水難救済会会長からの【団体表彰】内浦救難所(代表救難所長中山謹一氏)及び【個人表彰】七尾救難所救助長茅田征志氏への表彰伝達式を行いました。

式では、七尾市長である能登水難救済会会長から表彰状及び功労盾、功労章が手渡されました。

■ 団体表彰

昨年11月30日、能登町五色ヶ浜沖合いの浅瀬に1名乗り漁船が座礁しました。

内浦救難所は、救助要請を受けるや直ちに現場に向かい、波が高い中、手漕ぎボートを使い、船内で意識が朦朧としている乗組員1名を、所員が協力し無事救助したものです。



後列左から、七尾救難所長、警救課長、七尾市総務部長
前列左から、七尾市長（能登水難救済会会長）、
内浦救難所長、七尾救難所救助長、七尾海上保安部長

■ 個人表彰

本年1月5日、七尾救難所の茅田救助長が、七尾市中島長浦三ヶ口瀬戸付近を航行中、手漕ぎボートから海中転落し、ボートの細索に掛まり、救助を求めている男性1名を発見しました。

同救助長は、直ちに急行し同じく救助に向っていた別の手漕ぎボートの釣人に協力を求め、男性1名を無事救助したものです。

なお、救助に協力した加藤雅之氏（名古屋市在住）は、愛知水難救済会から表彰伝達式を受けました。



乗り上げた漁船の模様